

北海道総合開発委員会からの答申（北海道総合計画の見直し）議事録

日時：令和3年9月3日（金）9:30～9:40

場所：道庁本庁舎 3階 知事会議室

出席者

委員 寶金委員長

北海道 鈴木知事、濱坂総合政策部長、上田計画局長

（上田局長）

それでは、ただ今から、北海道総合計画の見直しにつきまして、北海道総合開発委員会、寶金委員長から知事への答申を行います。

（答申手交）

（着席）

（上田局長）

それでは改めまして、寶金委員長から答申の内容につきまして、コメントをいただきたいと思っております。

（寶金委員長）

今年の2月から、知事の方から北海道総合計画の見直しということで諮問をいただいて以降、私が委員長を拝命いたしました委員会におきまして、「コロナ禍」ということがきっかけになったと思いますが、逆境に対して立ち向かっていくために新しい戦略を再構築するという使命感を持って、鋭意、検討・議論を重ねてまいりました。

今月1日に最終の委員会が行われ、総合計画の改訂案について最終的な審議を行い、「おおむね妥当なものである」とお認めいたしまして、本日、答申させていただきました。

なお、委員会での議論において最も重要だったのは、「総合計画は道民へのメッセージ」であるから、「今後、道民の皆様には計画の内容をわかりやすく伝えることが重要である」といった趣旨のご意見をたくさん拝聴いたしました。この点、ぜひお願いいたします。

お手元の方、本文以外でお渡しさせていただいた、「未来への“かけ橋”に寄せて」という文書がございます。読み上げませんけれども、「コロナ」という激しい逆流を乗り越えて、「未来への“かけ橋”に寄せて」という文章を作らせていただきました。この文章は、私どもが答申を作るに当たって寄せる思いをメッセージにしたものでございますので、ぜひお読みいただきたいというふうに思います。

今後、計画の推進に当たりましては、道民の皆様の理解と協力が不可欠です。まずは、よく知っておいていただくということだと思います。

道におかれましては、こういったメッセージを活用する場面がございましたら、ぜひ使っていただきたいと思っております。この計画に込めた思いと総合計画のめざす姿が明確に語られておりますので、道民の皆様にはわかりやすく伝えていただくなど、その実現に向けて、鋭意取り組んでいただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

（鈴木知事）

寶金委員長におかれましては、大変お忙しい中、お時間をいただいて、北海道総合開発委員会の委員長というお立場をお引き受けいただいた中で、総合計画の見直しという道政における最上位の総合計画の見直しにご尽力をいただきました。まずこのことに深く厚く感謝を申し上げます。

本当にありがとうございます。

私といたしましては、寶金委員長から今お話をいただきましたけれども、ご提言と頂戴いたしましたこのメッセージ「未来への“かけ橋”に寄せて」ということで、寶金委員長からいただきましたこのメッセージ、こういったものを踏まえまして、今、お話の中で何度も強調されておりました、道民の皆様にご理解を深めていただく、わかりやすい適切な情報発信、これが必要になるというお話がございました。まさに私も非常に重要な点だと思いますし、せっかくご議論いただき、できあがったこの計画をしっかり皆様にご理解いただくことが何よりも重要だというふうに思っております。豊かな地域、そして確かな未来への道を切り拓いていく、そういった信念を持って、この総合計画のめざすべき姿であります「輝きつづける北海道」。この実現に向けて、知事として全力を尽くしてまいりたいというふうに考えております。寶金委員長におかれましては、この総合計画の見直しに当たってたいへんなお力添えをいただいたところでございますけれども、この計画の推進につきましても、ご指導、ご協力を賜りますことを心からお願い申し上げます。今後ともどうかよろしくお願い申し上げます。本日はありがとうございました。

(上田局長)

それでは、以上をもちまして、終了させていただきます。本日はお忙しい中、ありがとうございました。

(了)